

平成24年度釜石市立釜石中学校 釜石市授業交流会 数学 指導案

<b>【自己課題】</b>			
① 1時間の授業の中に課題把握・自力解決・集団解決・まとめと定着の時間をしっかり位置づけ、生徒が「わかった」と思える授業づくりを行う。			
② 適切な評価問題を用意しながら、授業での取り組みと家庭学習を連動させる工夫を行う。			
1.実施日	11月9日(金)	2.授業者・学級	川崎 淳子 1年3組 男子16名,女子15名 計31名
3.教科名	数学	4.単元名	4章 比例と反比例 とびら 待ち時間の予想はできるかな?
5.単元の目標	具体的な事象を調べることを通して、比例、反比例についての理解を深めるとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を培う。		
6.単元の評価規準	<p><b>【数学への関心・意欲・態度】</b> 様々な事象を比例、反比例などで捉えたり、表、式、グラフなどで表したりするなど、数学的に考え表現することに関心をもち、意欲的に数学を問題の解決に活用して考えたり判断したりしようとする。</p> <p><b>【数学的な見方や考え方】</b> 比例、反比例などについての基礎的・基本的な知識及び技能を活用しながら、事象を見通しをもって論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。</p> <p><b>【数学的な技能】</b> 比例、反比例などの関数関係を、表、式、グラフなどを用いて的確に表現したり、数学的に処理したりするなど、技能を身に付けている。</p> <p><b>【数量・図形などについての知識・理解】</b> 関数関係の意味、比例や反比例の意味、比例や反比例の関係を表す表、式、グラフの特徴などを理解し、知識を身に付けている。</p>		
7.単元(章)の指導計画	とびら	1時間(本時)	
	1節 関数	1時間	
	2節 比例	7時間	
	3節 反比例	5時間	
	4節 比例と反比例の利用	3時間	
	章の問題	1時間	
8.本時の指導目標	事象を図や表、グラフに表して、課題を解決することができる。 <b>【数学的な技能】</b>		
9.本時と【自己課題】との関わり	<p>①発問の工夫をしながら問題把握をしっかり行い、身近な問題として捉えることで、解決する意欲を持たせる。また、自力解決を選択させて行いながら、集団解決により他の考えの交流を行い、一人ひとりの理解を深めたい。</p> <p>②比例と反比例の復習プリント(小6)を家庭学習にする。</p>		

# 数 学 科 学 習 指 導 案

日 時 平成 24 年 11 月 9 日 (金) 5 校時  
 学 級 1 年 3 組 男子 16 名, 女子 15 名  
 授業者 川崎 淳子

## ○本時の展開

段階	学 習 内 容	学 習 活 動	指導上の留意点 評価の観点
導 入  10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題チェック</li> <li>1 既習事項の確認</li> <li>2 問題の把握</li> <li>3 課題の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題のチェックをする。</li> <li>小テストに取り組む。</li> <li>小学校で学習した比例・反比例について、覚えていることの確認をする。 ○図 ○式 ○表 ○グラフ</li> <li>P 1 0 6 を読む。</li> <li>P 1 0 7 の Q を読み考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>紙板書をあらかじめ用意しておく。</li> </ul>
展 開  30 分	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">まきさんが並び始めてから買い終わるまで何分かかかるか求めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>4 解決の見通しを立てる</li> <li>5 自力解決</li> <li>6 集団解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「注文してからお金をはらう時間はどの人も同じである。」という条件で考えることを伝える。</li> <li>予想を立ててみる。</li> <li>事象を表で整理する。</li> <li>自分の解決方法によって、自力解決を行う。</li> <li>ペアで確認した後、全体で発表しあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比例や反比例の考えを使って、解決できないか考えていけるようにする。</li> <li>◇【関心・意欲・態度】 事象を比例として捉えたり、表や式で表したりするなど、数学的に考え表現することに関心をもっている [観察]</li> <li>◇【数学的な技能】 図や表、グラフ (式) に表して、課題を解決することができる。 [観察, ノート]</li> </ul>
終 末  10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>7 まとめ</li> <li>8 家庭学習と次時の連絡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間と人数の様子の変化がどうなっているかノートにまとめる。 ○待ち時間は人数に比例する。 ○人数が決まればおよその待ち時間を求めることができる。</li> <li>家庭学習のプリントを配布する。</li> <li>次時の予告をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比例とみなして考えることによって、変化や対応の様子について予測できることについてふれる。</li> <li>小学校の比例・反比例の学習との系統性の話をし、意欲的に家庭学習に取り組ませるようにする。</li> </ul>